

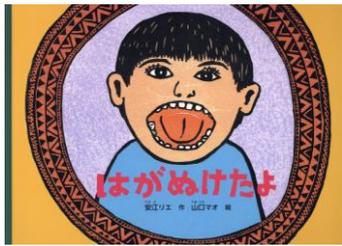
わ く わ く

6月号

本 だ な



えほん
(1年生~)



『はがぬけたよ』

安江リエ/作 山口マオ/絵 福音館書店
ぐらぐらのまえばが気になる、こうじ。おとうさんは、
ドアについているライオンのわっかと、こうじのはを糸で
むすんで、はをぬこうとします。こわくてにげだすと、み
ちのむこうから、はをぬかれたワニがやってきました。

1・2年生

K913 『はいくしょうてんがい』

荻田澄子/作 たごもりのりこ/絵 偕成社
しょうてんがいのかんばんからとびだしてきた、たこ
やきや、くりまんじゅう。いちばんのみせはどこか、け
んかをはじめます。そこへ、まねきねこがやってきて、「は
いく大会」でいちばんをきめたらどうかといいます。



3・4年生



K913 『オバケ屋敷にお引越し スギナ屋敷のオバケさん』

富安陽子/作 たしろちさと/絵 ひさかたチャイルド
オバケインチロウさんは、みんなに「オバケさん」とよば
れる料理研究家。広い台所がほしくて、山の中の古い家に引
越すことになります。夜中、荷物をかたづけて料理を作っ
ていると、小さな女の子が玄関にあらわれました。

5・6年生

K933 『賢女ひきいる魔法の旅は』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作 アーシュラ・ジョーンズ/作 田中薫子/訳 佐竹美保/絵 徳間書店

12歳のエイリーンは、魔法の使い手で「賢女」と呼ばれるベック叔母さんとくらしています。ある時、大王の命令で、さらわれた皇子をさがす旅にでますが、途中で叔母さんが呪いをかけられてしまいます。





えほん
(3年生～)

『干したから...』
森枝卓士／文・写真
フレーベル館



えほん
(1年生～)

『ことりのおそうしき』
マーガレット・ワイズ・ブラウン／文
クリスチャン・ロビンソン／絵
なかがわちひろ／訳
あすなる書房



K983 『まるごとごくり!ロシアの^{むかしばなし}昔話』
シンシア・ジェイムソン／再話 アーノルド・ローベル／え
小宮由／やく 大日本図書

1・2年生

子どもがいなかったおじいさんとおばあさん。かわりに、土で小さな男の子のにんぎょうの「土ぐう」をつくりました。すると、できあがった土ぐうがとつぜんしゃべりはじめ、なにか食べさせてほしいといひます。

『^{ろせん}路線バスしゅっぱつ!』

えほん

鎌田歩／作 福音館書店
つばさくんたちは、路線バスに乗って公園に行くことになりました。バスには、お客さんをあんぜんにはこぶための、たくさんのおふうがされています。ふだんはみられないバスの運転席や、車内のようすをしょうかいします。



2年生～



3年生～

K488 『ツバメ^{かんさつぎ}観察記』

孝森まさひで／文・写真 福音館書店
ツバメが、どうやって生まれて成長するか知っていますか？それは、まず親鳥がどろで巣をつくることからはじまります。作りはじめたばかりの巣から、ヒナが巣立ちをするまでの52日間を、写真で^{じゅんばん}順番におつていきます。

ちしきの本

K494 『義足^{ぎそく}でかがやく』

ちしきの本

城島充／著 講談社
けがや病気で足をなくした人が、足のかわりに使うのが義足です。小学2年生で左足を失った田巻佑真くんは、今では義足で卓球の大会に出場しています。義足をつくる臼井二美男さんが、佑真くんをもう一度走れるようにしてくれたのです。



5年生～